

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年9月12日 (2013.9.12)

【公表番号】特表2011-521750(P2011-521750A)

【公表日】平成23年7月28日 (2011.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-030

【出願番号】特願2011-511998(P2011-511998)

【国際特許分類】

**B 2 6 B 19/04 (2006.01)**

【F I】

B 2 6 B 19/04 G

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年7月23日 (2013.7.23)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 0】

刃 8 は、周辺領域 9、10 から始まって、約 0.58 mm の幅 B 1 まで、約 0.2 mm の窪んだ内径 R 1 によってテーパするテーパ部を持つ。それに隣接するのは、約 3.3 mm の凸状の外形をもつ外径 R 2 である。この方法で、刃は、この領域においてその長手方向延長部に沿って凸状の外形を得る。半径 R 2 の内端部において、刃は、約 3.5 mm の窪んだ内径 R 3 によって平行の中央区域に遷移する。この区域は、0.32 mm の幅 B 2 及び約 3.1 mm の長さ L 3 を有する。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

関連付けられた上部カッター (6) とともに、乾式シェーバーの剃毛ヘッドを形成する、下部カッター (4) であって、前記上部カッターが、少なくとも部分的に下部カッター (4) を囲む有孔薄片 (6) の形態に設計され、前記下部カッター (4) が、2 つの周辺領域 (9、10) の間でストリップの形態の刃先 (12、13) を有する、間隔をおいた複数の刃を有し、かつ断面が本質的に U 型であり、前記ストリップの幅は、その幅が前記 2 つの周辺領域 (9、10) から中心 (Z) の方向にテーパするテーパ部を持ち、前記ストリップの幅の前記テーパ部が、ステップレスであり、

前記刃は 2 つの周辺領域 (9、10) から中心に向かって内側へ窪んだ内径 (R 1、R 3) をもつ 2 つの凹部によりテーパし、

内側へ窪んだ内径 (R 1、R 3) をもつ 2 つの凹部間に、外径 R 2 をもつ凸部が形成されていることを特徴とする下部カッター。

【請求項 2】

前記テーパ部は平行な中央領域を有することを特徴とする請求項 1 記載の下部カッター。

【請求項 3】

前記刃 (8) が、中心線 (M) に対して対称形を持つように設計されていることを特徴

とする、請求項 1 ~ 2 のいずれか一項に記載の下部カッター。

【請求項 4】

前記刃 ( 8 ) の前記刃先 ( 1 2 、 1 3 ) が、鋭角の刃先角度 ( W ) を有することを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の下部カッター。